



市長記者会見資料  
令和元年8月2日  
市長政策部文化創造課  
高岡市美術館

## 高岡市美術館開館 25 周年記念・高岡市市制施行 130 周年記念 「明治金工の威風—高岡の名品、同時代の名工」を開催します

東京国立博物館、東京藝術大学大学美術館所蔵の金工の名作が、高岡市美術館に勢揃いします。明治期に高いわざで評価を得た高岡の名品と競演することで、明治金工の威風を感じさせます。

本展は、「国立博物館収蔵品貸与促進事業」の大規模貸与事業に全国で唯一選ばれたことにより実現したものであり、東京国立博物館の収蔵品には重要文化財も含まれています。

ダイナミックな人・もの・わざの交流と洗練の歴史を経て現在まで受け継がれてきた超絶技巧の世界をお楽しみください。

会期：令和元年9月20日（金）～10月20日（日）

### <主な展示品>

- 高岡の名工 よこやまやざえもん 横山彌左衛門が制作し明治6年（1873年）のウィーン万国博覧会にも出品された、高さ約 127 cm の「らいこうおおえやまいりずだいかびん 頼光大江山入図大花瓶」

横山彌左衛門《頼光大江山入図大花瓶》明治6年  
東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives



- 明治の名工 すずきちようきち 鈴木長吉が制作した国指定重要文化財「わしおきもの 鷲置物」。東京藝術大学所蔵の下絵とともに展示

鈴木長吉《鷲置物》明治25年  
東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives



- 高岡の名工 じょうづかいよしまさ 定塚義正が制作した「うんりゅうもんちゅうどうかびん 雲龍文 鑄銅花瓶」。しゅどう 朱銅と呼ばれる着色方法による色鮮やかな名品の一つ

定塚義正《雲龍文鑄銅花瓶》明治時代  
高岡市美術館蔵



【担当】文化創造課文化振興係 ☎20-1452（内線 2668）  
高岡市美術館 ☎20-1177

◇「明治金工の威風—高岡の名品、同時代の名工」のみどころ

高岡の金工、ウラまでわかる

作品の特徴や技法の解説はもちろん、作品制作の経緯が分かる歴史資料や、ふだんは見られない底裏の銘（サイン）の写真など、あらゆる角度から魅力を紹介します。

「超絶技巧」を楽しむ

近年注目が高まっている明治期工芸。そのダイナミズム、精緻さ、華やかさは現代の人々も楽しめるものです。ときに「やりすぎ」?! なデコラティブさとリアリズムをぜひ、生でご覧ください。

明治の名工・鈴木長吉の作品が集合する貴重な機会

高岡出身の林忠正とのコラボで作品制作を行ったこともある 鈴木長吉 (1848-1919) の作品を一度に見ることができるチャンスです。名工の力量にご注目ください。

 <p>すずきちょうきち 鈴木長吉 《岩上双虎置物》 明治33年 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives</p> <p>ちょっとカワイイ?! 名工がつくる虎</p>	 <p>リアルに動く人気の「自在」</p> <p>さとみしげよし じざいりゅうおきもの 里見重義《自在龍置物》明治45年以前 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives</p>
 <p>よこやまやざえもん 二代 横山彌左衛門 《武人文大香炉》 明治10年 高岡市美術館蔵</p> <p>高岡市指定文化財 パリ万博でも展示</p>	 <p>高岡市指定文化財 細かい彫りに舌を巻く</p> <p>ふじばやしみつおか ししきりんもんきんざんぞうがんかびん 藤林峯親《獅子麒麟文金銀象嵌花瓶》 明治10年 高岡市美術館蔵</p>

「国立博物館収蔵品貸与促進事業」とは

平成30年7月に新たに発足した独立行政法人国立文化財機構「文化財活用センター」が、地域文化の創生および観光振興に寄与することを目指し、東京国立博物館と共同で始動した事業。昨年度の試行実施を経て今年度から本格的に事業展開されたもので、21~50件程度の館蔵品を貸与する「大規模貸与」（各年度1か所）は、高岡市の歴史・文化と本展のテーマが評価され採択されたもの。